

平成30年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況(大阪府)

― 主食用作付見込面積は5,000haの見込み 10a当たり予想収量は497kg(前年産に比べ9kg減少)の見込み ―

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む。)は5,010haで、前年産に比べ150haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は5,000haが見込まれる。

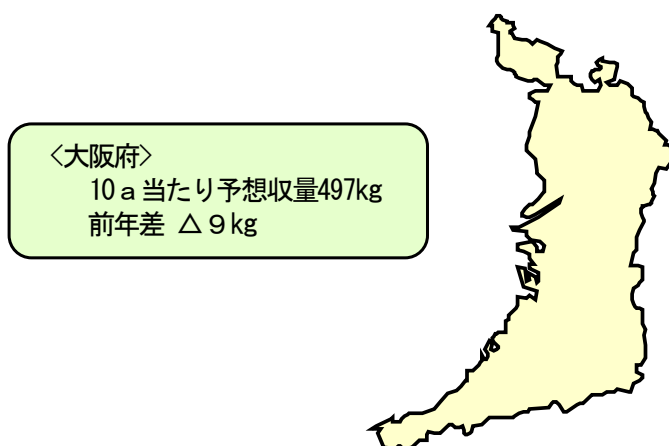
2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、7月から8月がおおむね天候に恵まれ、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となった。
- (2) 登熟は、出穂期以降おおむね天候に恵まれていたものの、9月以降の気温及び日照時間が平年を下回って推移していることから、「平年並み」が見込まれる。
- (3) 以上のことから、9月15日現在の10a当たり予想収量は497kg(前年産に比べ9kg減少)が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は100となる見込み。
- (4) 被害は、台風第20号、第21号の通過による暴風雨により、早生種を中心に倒伏が発生した。また、山間部を中心に獣害等の発生がみられる。

3 予想収穫量(主食用)

主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は2万4,900tが見込まれる。

図 大阪府の10a当たり予想収量(9月15日現在)



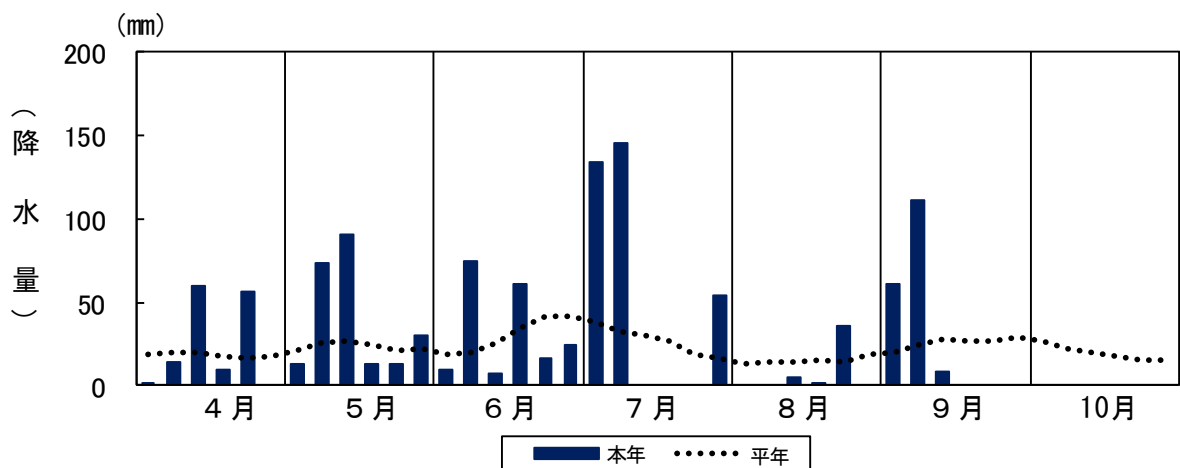
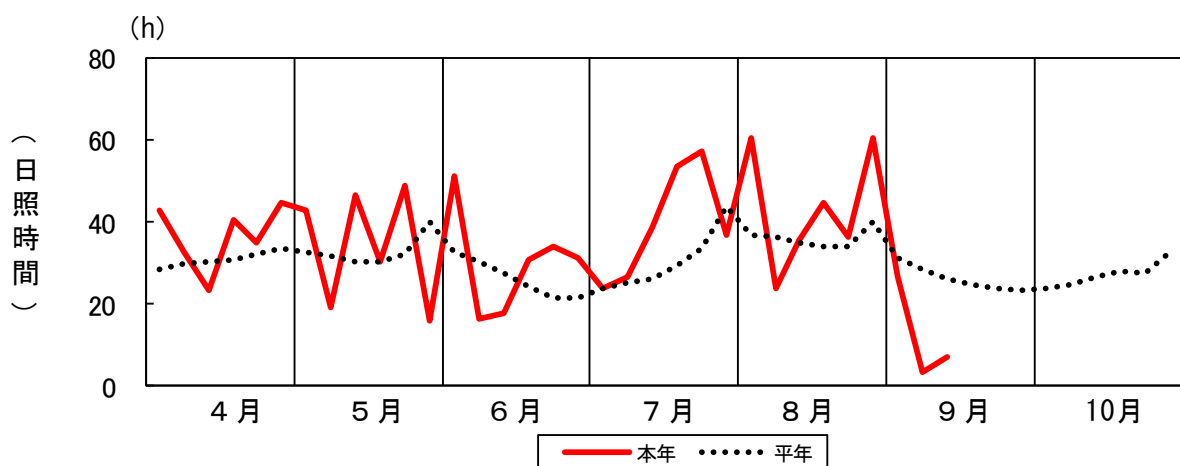
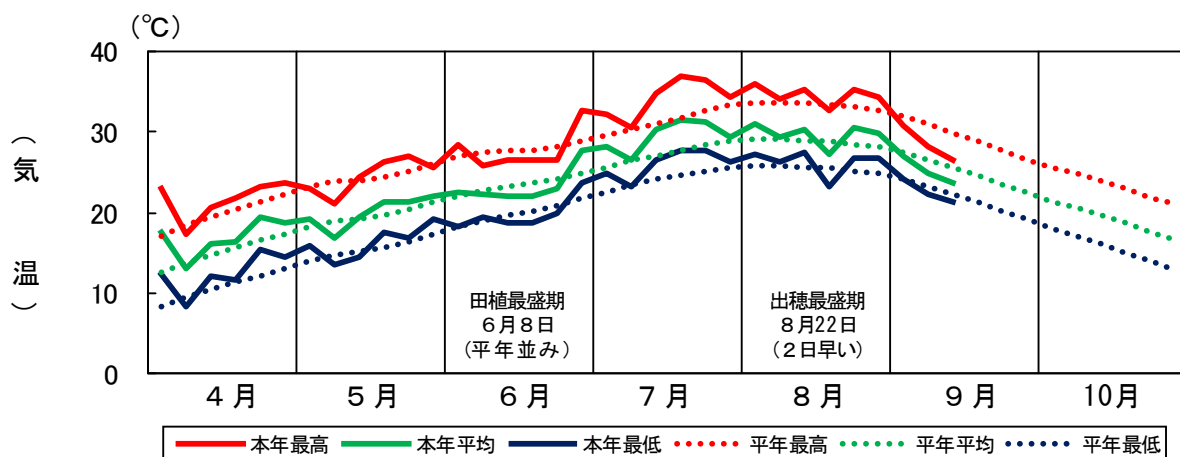
- 本調査における作柄概況(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況(近畿)」(平成30年9月28日公表)の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

大阪府（大阪市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期及び出穂期の最盛期は、府平均の期日である。
 なお、()内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 大阪府拠点 統計チーム

電話：(代表) 06-6943-9691 内線 238
 (直通) 06-6941-9659
 FAX： 06-6944-1208